

盛況の2日間キャンパスに熱気

2023石鳳祭

秋晴れに恵まれた10月7、8日、2023石鳳祭が開催された。豪華ゲストを招いてのお笑いライブやアイドルステージに加え、メインステージでは実行委員会考案のクイズやビンゴ大会、音楽系サークルや外部団体によるライブが行われた。教室では理工学部の研究を体験できる知の玉手箱、サイクリング愛好会によるバーチャルライドなど多彩な催しを実施。ゼミや研究室による模擬店、石巻の名産品を味わえる地場産品フェアも盛況で、来場した学生や地域住民らに石巻専大生の熱気を届けた。

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

石巻専修大学 広報係 986-8580 宮城県石巻市 南境新水戸1番地 0225-22-7717(直)

最新の情報は大学HPで。 QRコード



子どもたちが楽しめる模擬店や企画も



大いに盛り上がった育友会の餅つき体験



理工学部の学びに触れる「知の玉手箱」

尾池学長(前列左から3人目)と交換留学生ら



交換留学生7人が来日

国際交流協定校である中国の東北電力大学(吉林省吉林市)と温州大学(浙江省温州市)からの交換留学生計7人が9月11日に来日した。東北電力大学からは昨年度に続いて、温州大学からはコロナ禍前の2019年以來4年ぶりの受け入れとなる。

7人は来年8月まで人間学部人間文化学科で日本語や日本文化について学ぶ。また、留学生生活をサポートする日本人学生(ピアサポーター)との

交流や課外活動を通じて、日本に対する理解も深めていく。9月21日、交換留学生7人とピアサポーター6人が尾池学長と懇談した。

曾智俊さん(温州大学交換留学生)は、「小さいときから日本のアニメが好きで、留学は夢だった。ピアサポーターと一緒にカラオケを楽しむなど、日本文化を体験した」と流ちょうな日本語で話した。

ピアサポーターの木村政さん(人間1・宮城県石巻西高)は、「趣味の料理を一緒に楽しみたい。石巻での留学生活が充実したものとなるように全力でサポートする」と意気込みを語った。

最後に尾池学長から、「お互いに遠慮せずに積極的に話しかけてほしい。たくさん話をしながら」と激励の言葉が送られた。

7月16日に東北大学川内北キャンパスで行われた科学イベント「学都『仙台・宮城』サイエンス・デイ2023」にロボット研究会が参加し、子どもたちに最先端技術に触れてもらう体験ブースを出展した。

プログラム名は「あなたの手の動きをそのままロボットハンドで動かしてみよう!」。自分の手の動きをまねる「ロボット

ハンド」、自動で水平になる「水平スタビライザー」、レーザー光に音に乗せる「レーザー光通信」を展示し、それらが動く仕組みを解説。また、電子工作を体験してもらいながらプログラミングの基礎や楽しさを伝えた。

「難しく感じる内容を分かりやすく説明し、実際に体験できる面白いコース」と評価され、YU-STAR賞(山形

県南栄高)・1年次の小原太陽さん(宮城県気仙沼高)・高卒認定試験、千葉稜太郎さん(宮城県登米総合産業高)は、「乗ってGAINLINE」と題したアイデアを考案。バスの完全自動運転と最適な誘導によりコストを抑

え、増便やグローバルニーズにも対応できるシステムを発表した。久米さんは、「将来、メンバー全員が新たな発想を生み、社会で活躍できたらうれしい。今回出たアイデアが当たり前のよう

に使われる未来を目指していきたい」と語った。

サイエンス・デイに参加



三つの体験ブースで最先端技術の魅力を伝えた

大学地域共創STEAM教育推進センター長賞を受賞した。荻原壮太さん(理工3・宮城県古川高)は、「相手に分かりやすく伝える力」と振り返った。

アイデアソンで最優秀賞 アイデアソンのチーム「ROGERIO」のメンバー4人が8月27日、東北大学電気通信研究所で行われた「アイデアソン十仙台2023」(主催:理工学部4年次の久米

唯道さん(神奈川県南栄高)・1年次の小原太陽さん(宮城県気仙沼高)・高卒認定試験、千葉稜太郎さん(宮城県登米総合産業高)は、「乗ってGAINLINE」と題したアイデアを考案。バスの完全自動運転と最適な誘導によりコストを抑

え、増便やグローバルニーズにも対応できるシステムを発表した。久米さんは、「将来、メンバー全員が新たな発想を生み、社会で活躍できたらうれしい。今回出たアイデアが当たり前のよう

に使われる未来を目指していきたい」と語った。

ロボット研究会 学外イベントで活躍



ROGERIOの4人と顧問の水野純教授(左端)

東北大学、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)に出場し、最優秀賞にあたる「NICCT賞」を獲得した。

「アイデアソン」は、アイデアを考案。バスの完全自動運転と最適な誘導によりコストを抑

え、増便やグローバルニーズにも対応できるシステムを発表した。久米さんは、「将来、メンバー全員が新たな発想を生み、社会で活躍できたらうれしい。今回出たアイデアが当たり前のよう

に使われる未来を目指していきたい」と語った。



校舎をバックにレーススタート

ツール・ド・東北2023 本学をメイン会場に開催

宮城県沿岸を自転車で駆け回る「ツール・ド・東北2023」(主催:河北新報社、ヤフー)が9月16、17日に開催された。スタート・ゴール地点の会場を提供するなど、本学は第1回大会から特別協力している。第10回記念大会となった今年は65キロ、210キロの5コースで実施。本学サイクリング愛好会の学生や教職員も参加した。100キロコースを完走した金子知義さん(理工3・埼玉県秩父高)は、「完走できたのは一緒に走った仲間のおかげ。来年は最長コースに挑戦したい」と話した。

オンライン受験相談会 Zoomを使用した個別相談を実施。11/23(木・祝) 12/9(土) 10:00~14:00

いしのまき祭り 入場無料 11/19日 10:00~16:00 専修大学神田キャンパス 10号館1階エントランスホールほか

ツール・ド・東北2023 本学をメイン会場に開催 宮城県沿岸を自転車で駆け回る「ツール・ド・東北2023」